

その2

ショッピングモールの例から地域発展の方策を探る

国際社会研究専攻 包金

1. 地域社会の活力の重要性

地域社会の活力をめぐって国家、基礎自治体や広域自治体などからいろいろな発展プランを立てている。ある国の発展は地域社会の活力、発展と密接な関係があるので地域の発展を重視しなければならない。地域社会の活力や発展をめぐってたくさんの方策がある。例えば、地域発展のために道路を補修する、観光名所をつくる、スポーツ大会を開催する、ショッピングモールを建設するなどである。ショッピングモールの存在は地域社会の活力に重要な影響があるだろう。

地域の活性化は地域社会の現在の重要な課題となっている。地域社会の活力とは簡単に言えばある地域の発展を指す。地域の活性化のための視点については行政政策、住民、企業、NPO、文化交流などである。地域社会の活力には行政部門や住民の参加が必要であり、企業、NPOについても同様であるなどである。ここで主に地域社会の活力に重要な影響があるショッピングモールの例を参考にし、地域活性化のために必要なことについて考察していく。

2. ショッピングモールとは？

まず、ショッピングモールとは何かということを説明したい。ショッピングモールとはショッピングセンターと呼ばれることもあり、簡単に言ってしまうと、小中規模の小売店を多数誘致した大型商業施設のことを指す。

ショッピングモールの歴史から見れば、1922年にアメリカ合衆国のカンザスシティで始まった。1948年にはオハイオ州コロンバスの不動産業者・Doncasterが開いたタウン・アンド・カンントリー・ショッピングセンター、ワシントン州のシアトルで J. B. Douglasが開いたノースゲート・ショッピングセンターが今日のショッピングセンターの原型となった。1956年に Dayton Hudson がミネアポリス郊外に、最初の完全な共同店舗型のモールとしてサウスデール・センターを開いた。1981年にカナダのアルバータ州エドモントンに開業したウェスト・エドモントン・モールは世界最大のショッピングセンターとしてギネスブックに記載された。2004年以降金源時代ショッピングセンターや華南 MALL、SM モールなど、中国や東南アジア各地に更に大規模なショッピングモールが建設されている。2008年10月31日、ドバイに世界最大規模のショッピングモール「ドバイ・モール」が正式開業¹。

3. 行政、住民によるショッピングモールの地域社会の活力にある影響

ショッピングモールは地域社会の活力に行政、住民によるたくさんの利点がある。例えば、地域の発展を促進する、地域の GDP を増やすこと、就職場所を提供する、人々の日常

¹ ウィキペディア「ショッピングセンター」 <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

地域社会の現在 第二部「地域とショッピングセンター」

生活に役に立たせる、地域の特色を了解させるなど。行政の視点から見ると、国家、地域の財政部門に対してある程度の税金を払って、地域の GDP を増やしている。ショッピングモールで就職できることは厚生労働省の就職させる作業に対してすごく援助になっていると思う。事例をあげると宇都宮市でベルモール、パルコ、ララスクエア、インターパークなどのショッピングモールがいくつあって、地域の GDP を増やして、就職職場を提供して、地域発展にいろいろな利益がある。調べたどおり 2004 年 10 月 5 日に建設した宇都宮ベルモール店が建設した 8 年間で地域社会の発展に貢献してきている。ベルモールが建設される以前は工場の敷地（現在のベルモールはその一部分に過ぎない）であり、環境の変化（旧市内を取り囲むように外環状線が建設された）により、以前は商業活動の中心であった旧市街からアクセスの便利性、拡張性に勝る外環状線沿いに小規模の商業施設が多数建設された敷地面積が 126,000 平方メートル、商業施設面積が 50,400 平方メートルであり、イトーヨーカドー宇都宮店を中核店舗として各種専門店 117 があるショッピングモールである。

また、住民に対してもたくさん利益がある。市民にとって人々の日常生活に役に立たせる。ショッピングモールで食べ物、着物から日常生活用品まで十分な商品があって、値段も各階層の人々の消費力に合わせるから本当に便利である。そして、たくさんの職場があるので学生にとってアルバイトする、就職する機会を得て自分の力で生活するのはいいことである。観光者にとって地域の特色を了解させることもできるし、観光者の買い物するのを通じて地域名物展覧に有効な影響がある。

4. 地域社会の活力をめぐる解決策

私個人の見方で、ある地域に適度のショッピングモールを建設するのは地域社会の活力に利益があっても、地域社会の活力でこれだけじゃないので国、地域の行政部門から地域の発展を重視して、ショッピングモールみたいないろんな事をやればいいと思う。例えば、道路を補修する、観光名所を開発する、スポーツ大会開催する、文化交流会するなど地域の発展だけではなく、地域人材を守ることができると考えている。

住民として地域社会の活力のために、自分ができる事をする事である。

(1) 町を愛することである。ある地域の住民にとって自分の故郷を愛する、故郷のために何か守ることは地域社会の発展で一番大事なことになる。例えば、基本的なゴミを拾うことを言えば、一人が一つのゴミを拾ったらその町の環境がきれいになれる。

(2) ボランティアになること。まず、ボランティアなにかあるかとか調べて、ボランティアの事に参加して、交友を深める。

(3) お金を使うこと。行政政府部門から地域発展のためにやっているすべての活動を支持して、必要な時寄付金をして、経済の方で支援する。

(4) 意見を提出すること。地域発展のためにどんなことをやればいい、どやってやればいいと考え方を提出する。

4. 国、地域、住民間での協力の重要性

地域社会の現在 第二部「地域とショッピングセンター」

どんな社会でも、どの国でも国の発展は地域社会の活力、発展と密接な関係がある。地域社会の活力は地域社会の現在の重要な課題となっている時代で行政、住民にかかわらずすべての団体でも地域発展のために頑張る責任を負っている。この課題を重視しながら解決策を探すのは必要であると思う。そのために、国と地域とわたしたち住民とが協力し合うことが求められてきている。